

「JCTVエシカル55」について



いつかとどこかの笑顔のために

【JCTVエシカル55】

JCTVは、世界のどこかの人々や 未来のいつかの人々が
笑顔でいられるために、いま私たちにできることは何かを考え、
たとえそれが小さなことでも、やさしさと思いやりをもって行動します。
それが、私たちが考えるエシカルです。

株式会社日本ケーブルテレビジョン（JCTV）は、世界各地の人々や未来の地球で暮らす人々に思いを寄せて、持続的で人にやさしい社会を実現するための行動指針「JCTVエシカル55」を策定しました。

JCTVが考える『エシカル』は、国連が定めた持続可能な開発目標・SDGsと趣旨目的は同じですが、SDGsが国連決議に基づき与えられたものであるのに対して、私たち自身の中からの発想を大切にすることにしました。『世界のどこかの人々や未来のいつかの人々が笑顔でいられるために、いま私たちにできることは何かを考え、たとえそれが小さなことでも、やさしさと思いやりをもって行動すること』を『エシカル』の定義としました。

具体的な行動は大きなものではありません。完璧を求めずに、身の回りの小さなことから始めることにしています。例えば「アフリカの雇用に貢献するためバナナの茎を原料とした紙の名刺を採用」「ペットボトル利用の可能な限りの削減」「資源ごみの分別・リサイクル」「コピー用紙の節約」「社内会議のペーパーレス徹底」「省エネや節電の実践」「マイバッグ・マイカップの推進」といった環境への配慮だけでなく、「勤務時間外の業務メールの自粛」「後輩社員の呼び捨て禁止」「ひとこと感謝の励行」など働き方や人間関係に関する日常のささいなことから「ウクライナを含め国際情勢を伝えるCNNをより多くの人にみてもらう」「SDGs関連の番組企画提案を積極的に行う」といった業務に直結することまで、およそ55項目を規定することを目指します。ただし努力目標なので「できない時」や「やらない時」があっても責めあたりはしません。アクションリストは、社内からの提案を随時受け付け更新していきます。

【JCTVとは】

正式社名は株式会社日本ケーブルテレビジョン。1971年、増え続ける訪日外国人のための英語ニュースの制作配信を目的に設立されました。その後アメリカで開局したCNNと提携し日本国内でのCNNの有料放送事業を行うかたわら、番組制作会社として「渡辺篤史の建もの探訪」(テレビ朝日)、「ベストヒットUSA」(BS朝日)、「日曜スクープ」(BS朝日)、「ABEMA Prime」(ABEMA)などを制作しています。SDGs関連の番組としては「しあわせのたね」(テレビ朝日)、「ミライ MAKER」(BS朝日)、「発見! トリクミさん」(山口朝日放送)などを制作。

【本リリースに関する問い合わせは】

株式会社日本ケーブルテレビジョン (JCTV) 総務局

E-mail : jctv55@jctv.co.jp TEL : 03-3568-8221